

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者様・家族様等の意見の反映。運営推進会議に不参加な家族様の意見や、利用者の思いや悩み・個別の希望が聞けているとは言えない。	運営推進会議に不参加の家族様に利用者様の思いや悩み等を伺う機会作りをするためには、どのような事をすればよいのか、職員間での話し合いを行い安心して頂ける為の情報共有を行う。	意見箱を設置しているが機能していないので運営推進会議録を郵送する時にアンケート形式で家族様の意見を伺う。利用者には個別に思いや悩み等を伺いそ家族様にも知らせ共有していく。面会時に日頃からの会話で拾った意見あれば話しあう	3ヶ月
2	49	全体でのレクリエーションや外出は行えているが、個別での対応ができていない、と言えない。利用者の個別外出ケアは限られた職員人数では難しいのが現状。	個別ケアを大切にしたい。すいとハンズ物集女の理念にもあるように、家族様も職員も共に支え合う。	職員間の連絡や連携を密に行い、業務を効率化し少しでも時間的な余裕を作り、個別外出対応を行う。また、家族様にも伝え、共に支え合うひとつとして、散歩など同行いただけるよう働きかけて行く。	3ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援退居時に必要な情報や次の関係機関との連携が十分に取れているとは言えない。	入居時に看取りを行っていない当ホームでは通過施設で有ることの説明と同時に次のステップに向けての動きの説明や関係機関の情報の提供を行う。	特養等の施設の現状・新設の施設情報の収集に努め一覧表等を作成し、必要な時にはすぐに開示できるようにする。	6ヶ月
4	6	外部の研修には積極的に参加するようにしているが、内部勉強会が充実しているとは言えない。	外部の研修を終えた職員が内部研修として、勉強会の実施に努める。	まずは、担当を決めて職員が学びたい事について計画を立てる。その事が近々の外部研修でなければ、市役所の担当者・訪問看護師や往診医に尋ねたり、「ひと・まち交流館」に出向き研修の情報を把握する。	6ヶ月
5	35	災害対策の中で、消防署・消火器店に来てもらう訓練は年2回おこなっているが、内部の職員だけの訓練は行っていない。	全職員がスムーズに避難誘導を行えるようにする。	2か月に一度は天災も含めていろんな設定での訓練を行うようにし、全職員が一度には無理であるが、参加する機会を増やすようにする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。